

平成27年度復興庁「心の復興」事業一次採択提案一覧

No.	提案名	取組内容	提案団体名	対象地域
岩手県				
1	食でつなぐ人と地域in山田2015	健康診断・健康体操、郷土料理の伝承教室、「食」をテーマにした「心の復興講演会」、地元素材を活かした開発加工品の発表、交流を行う。応急仮設住宅等において孤立しがちな被災者に対して地域コミュニティの再生と生きがいづくりを目的とする。	復興！船越地域協議会	岩手県山田町
2	仮設住宅居住者等の生きがいづくりとしての農園運営及びものづくり支援事業	農園での野菜作りに学生ボランティアを受け入れ、収穫祭などで交流を図る。また、収穫物を活かした工芸品づくりを進める。孤立感が高い方や、引きこもり、アルコール依存症などになってしまった仮設住宅居住者の症状や孤立感への緩和を目的とする。	新生おおつち	岩手県大槌町
3	被災地におけるもの作り教室と食事交流会を通したこころのケア事業	仮設住民に刺し子や手編み商品を制作してもらい、バザーで販売する。また郷土料理作りを通した住民交流会活動を実施する。また、傾聴、訪問相談も行う。被災地での仲間作り、生きがいづくりを促し、地域のコミュニティ形成とこころの復興につなげる。	NPOサンガ岩手	岩手県大槌町、釜石市
4	釜石・大槌大学プロジェクト	地域学、復興学、企業とまちづくり講座など大学の模擬講座を釜石、大槌で行う。また、全国の学生が参加する仮設住宅のボランティアツアーを実施する。仮設住宅の住民と学生が講座を通じて学びながら交流すること、住民自らの経験を講座に取り入れ住民に講師の役割を担ってもらうことでの「生きがいづくり」ができる。	NPOアットマークリアスNPOサポートセンター	岩手県釜石市、大槌町
宮城県				
5	「心の農園」プロジェクト	開成・南境の大規模仮設団体の近くで微生物農法講習会、調理講習会、収穫物販売などを行う。農園での共同作業の中で自分の力を発揮することによる心身の快い疲れ、いい土づくりの知識や技術の獲得、収穫の喜びなどを味わうことで、心の復興に寄与する。	NPO石巻スポーツ振興サポートセンター	宮城県石巻市
6	心の復興を目指す「イシノマキファーム&イシノマキマルシェ(仮称)」プロジェクト	石巻市内で借り上げた農地(イシノマキファーム)にて仮設住民が農作物を栽培し、収穫した作物を販売所(イシノマキマルシェ)にて定期的に販売する。参加すること自体が本人たちのリカバリー(心の復興)につながる仕組みを構築する。	NPOSwitch	宮城県石巻市
7	南三陸人と人のつながり、まちづくり参加を通じた生きがい創出事業	コミュニティ巡回訪問とワークショップ形式の話し合いを実施し人と人を結びつけ、住民連携の充実化をはかる。また、郷土食の開発や手工芸品の製作やイベントを被災者である住民が積極的に取り組み実施できるようにサポートすることで、地域内の循環を促し、住民の生きがいづくりにつなげる。	NPO夢未来南三陸	宮城県南三陸町
8	被災者と地域住民の交流充実化に向けた地域協働型プロジェクト	耕作放棄地の農地化と野菜類の栽培、それらを活用した食交流プログラムの実施する。また、手作り市の開催と防災マップ作りによる地域交流プログラムを行う。他人とのかかわりが増え自分の存在価値発見につながり、生きがいを持つことになる。	NPO故郷まちづくりナイン・タウン	宮城県登米市
9	多世代協働による「食づくり・ものづくり」ハッピープロジェクト	ハーブや農作物を育て、大学や飲食店と連携してメニュー開発を行う。また、ハーブを基にしたアロマづくりやアイピローを制作する。事業への参加を通して被災者の疲れた心と体のリフレッシュを図る。	ハッピープロジェクト	宮城県東松島市
福島県				
10	のびやかで前向きな心も育てるミシンの学校	障害者や福祉職員が縫製技術を学びながら小物を製作する。また、賛同する県外企業などのネットワークを構築する。障害者に復興の一助として活躍する場をつくり、生きがいを取り戻す活動を行う。避難生活の中で新たに福祉的配慮が必要となった引きこもりがちな方々も積極的に受け入れていく。	NPOLしんせい	郡山市、福島市、二本松市、川内村、いわき市
11	ベテランママの会高齢女性サロン活動とその効果測定	仮設住宅に入居する高齢女性が集える場を提供し、「編み物教室サークル」や「書道教室」などのサロン活動を行う。また、県内の他地域の団体等との交流イベントを開催する。運営に首都圏や県内の大学生スタッフを巻き込むことで世代間交流も促進する。これらの活動を通じて、女性による女性のための生きがいづくりに取り組む。	ベテランママの会	福島県北沿岸地域、県内避難先

平成27年度復興庁「心の復興」事業一次採択提案一覧

No.	提案名	取組内容	提案団体名	対象地域
12	「いだけ支援」(仮設住宅拠点化生活支援事業)	大学生が仮設住宅に居住しながら声かけや引きこもり防止に寄与する活動を行う。ミニサロン、レクリエーション、花植えなど住民のふれあいを行うとともに、夕涼み、芋煮、望年会などの住民親睦会を行う。住民と調和しつつ世代間交流を行うとともにコミュニティを活性化し、生活者の生きがいを創る。	福島大学災害ボランティアセンター	福島県浪江町、福島市
13	ふくしま「人の駅」創生事業～「語り人」活動を通じた街中交流を目指して～	避難者自身が復興の現状と思いを語り伝える「語り人」活動を展開するとともに、「ふるさとを考える会」や文化交流発表会を開催する。語り合うことで生まれる共感から喜びと生きがいを創る。	富岡町3.11を語る会	福島県郡山市を中心とした福島県内外
14	福島の伝統芸能復興と伝統継承していくための基盤作り事業	福島県指定文化財「江垂日吉神社のお浜下り」の行事のうち、民族芸能の部分の復興に取り組む。仮設住宅居住者450名程度のほか、多くの近隣住民の参加が見込まれ、地域の結束と融和と被災者の心の復興を図る。	民俗芸能を継承するふくしまの会	福島県内
15	ナラノハプロジェクト	「心の復興」を目的として仮設住宅での交流会や郷土料理勉強会、特産品企画、楡葉町へのスタディーツアーなどを開催。また、住民の方々が共同で郷土料理を活かした薬膳料理の開発を目指す。これらの活動により町の活性化と「心の復興」を目指す。	ナラノハ	福島県楡葉町、いわき市
16	大熊町住民によるまちづくりワークショップと現状視察	町の復興拠点(大川原)で住民全体で復興を考えるワークショップを行う。また、帰還困難地域の大熊の現状を見る。大熊町復興という同じ想いを持った住民同士が交流し、共に前を向いて動き出す事で、住民の「心の復興」にも寄与していく。	NPO大熊町ふるさと応援隊	福島県大熊町
17	子どもとの交流と学びを通じたコミュニティづくり事業	3世代で郷土料理作りを行い、一緒に食べることで世代間交流を行う。また、文化サークル活動や生活工芸品のものづくり活動を実施する。あわせて仮設の清掃ボランティアも行う。セフティーネット維持のための清掃ボランティア活動と生きがいづくりのための地域資源をもとにした生涯学習活動を実施し、学びを通じたコミュニティの再生を行う。	ふくしま被災者支援連携ネット	福島県会津若松市、郡山市
3県・2県				
18	市町村仮設住宅対抗「男の料理コンテスト」	健康・栄養セミナーを継続的に実施してきており、そのうち男の料理教室に参加している市町村で市町村対抗の「男の料理コンテスト」を実施。「心の復興」事業の支援により実施個所や参加人数の拡大を図るとともに、費用の半額程度は提案企業の支援で賄う。	味の素CSR部	岩手県山田町、陸前高田市、宮城県石巻市、女川町、福島県双葉町、葛尾村
19	ふっくら布ぞうりの会による、布ぞうりを通じた生き甲斐支援&経済的支援	布ぞうりの講習会を開催し、仲間を作る。震災によってそれまでの生活や仕事を失った方たちに、布ぞうりの製作を通して新たな生きがい支援とする。	(一社)あゆみ	岩手県陸前高田市、宮城県南三陸町、石巻市、東松島市
20	「いま、ここで生きている」展 被災者の心をつなぐ作品展覧会開催計画	布を使って各自の願いを込めたマスコット人形を制作するワークショップを実施。その成果を東北や関東の文化施設等で展覧。展覧会出店に向けた作品制作を通じて生きがいづくりに寄与するとともに各地に居住する被災者同士の心の交流を促し、心の復興を図る。	ARTS for HOPE	岩手県大船渡市、陸前高田市、宮城県石巻市、名取市、山元町、福島県大熊町、浪江町、相馬市、南相馬市
21	災害公営住宅入居住民の心と体の栄養復興	現地の特産品や食材を使った家庭料理教室、簡易健康診断を実施。大学院生との交流を通じた個人の悩み・ストレスの解消と同時に生きがいを創造する。	NPO日本臨床研究支援ユニット	宮城県岩沼市、福島県いわき市、郡山市
3県外				
22	東京近郊の県外避難者による「活力発信」プロジェクト	東京近郊の県外避難者に対し、趣味や特技を生かして行動する人の事例調査や広報を通じ、活力を発信する取り組みを行う。それぞれの職能や特技、趣味を生かして活動を始めた県外避難者の事例を知ること、喪失感から気持ちが閉塞している人を触発するきっかけになると同時に、一歩を踏み出す支援をすることで、具体的な行動につながる。	NPO医療ネットワーク支援センター	東京23区内